

しみずっ子だより

発行責任者
清水小学校 校長
志佐 光正

児童数
924名
12月1日現在

「ISS再認証へ新たなスタート」

校長 志佐 光正



校庭の桜やイチヨウの葉が落ち、枝の間から冬の澄み切った青空が見える季節になりました。町のあちこちには、クリスマスのイルミネーションが輝きを増しています。

二期は「ISS」「あいさつ」「だまってそうじ」を重点に取り組んできました。

「ISS」みんなの願いであった認証取得が先月叶いました。小さなことも大切にしてきた結果です。認証取得は、ゴールではなく新たなスタートです。国語の学習でISSに関わるインタビューに校長室を訪問したり、廊下では「走らないで」という声が当たり前に聞こえてきたり、児童朝会では、集委員会が「ISSクイズ」を出したり、引き続き取り組んでいます。ISS認証校にふさわしい言動が求められます。学校でも子どもたちと共にしっかりと取り組んでいきます。ご家庭の皆様、地域の皆様のご協力をお願いいたします。

「あいさつ」この二期もあいさつ運動が全校あげて実施され、一年生も門に立って元気のよいあいさつをしてくれました。来校されたたくさんのお客さんからも、「気持ちのよいあいさつができました。」とお褒めのことばもいただきました。「だまってそうじ」特に職員室前のグループは、さすがに六年生、いつ見てもしつかりできています。また、学級ごとにがんばっている姿が見られます。この学期末「おそうじマイスター」が実施され、輝く星を手に入れるようがんばっています。一人一人が大きく成長することができました。

「しみずっ子の光り輝く安心・安全な学校」をめざして

―学校評価について―

総括教諭 齋藤 みゆき

本校では、今年度も「しみずっ子の光り輝く安心・安全な学校」の学校目標に向かって、様々な教育活動に取り組んでいます。

学校では、全校児童が取り組む運動会のような学校行事から、国語や算数などの学習指導やあいさつや給食などの生活指導に至るまで、日々、様々な活動が行われています。こうした諸活動が、先の学校目標に沿って計画、実行されているか検証したり改善点を考えたりして、次の教育活動へ生かしていくため、学校評価を行っています。

具体的な方法として、学期や行事等の区切りごとに教職員や児童・保護者や地域のみなさま、さらには学校評議員のみなさまのご意見をいただき、それらをもとに検討を重ねていきます。

一学期に実施した全校児童の学校生活についてのアンケート調査から、「友だちとなかよく過ごせている」と回答した児童が全校の約九割で、学校生活に概ね満足していることがうかがえました。また「進んで挨拶しよう」と意識してきている児童が増えてきていることも分かりました。一方、防犯ベルの携帯やヘルメット着用については、全校で意識の高揚と実践化が今後の課題です。このほかの事項においても、教職員の反省を基に継続して学年に応じた指導を進めてまいりました。フェスティバルや授業参観では、子どもたちの一生懸命頑張る姿を褒めてくださる感想を数多くいただきました。

十二月には、保護者のみなさまからも建設的なご意見をいただき、来年度の教育計画に生かしていきたいと考えています。

あみーごす

●「ごいの池」

休み時間に低学年の子ども達が集まる人気ポイントは「ごいの池」です。メダカやカエルなど生き物がいるからでしょうか。現在ナショナルトラストみどり財団のご協力を得て、ビオトープとしての整備を進めています。まず、杭とロープをきれいにしました。



●交通事故防止パレード

十二日(日)厚木中央公園から交通事故防止パレードがありました。本校の自転車大会に挑戦した六年生が「特別ゲスト優良運転児童自転車ヘルメット隊」として招かれ、ヘルメットの着用を呼びかけながら市内をパレードしました。

お知らせ

登校班まとめ係さんへ 下校指導ご出席のお願い

担当 中 彩

日頃、子どもたちの安全な登下校のためにご協力いただきありがとうございます。

三期早々に学校では、下校指導を行います。子どもたちのよりいっそうの安全な登下校のためにご協力をお願いします。後日お便りを配布します。

日時 平成二十三年一月十二日(水)

十一時～十一時三十分

場所 各登校班集合教室

*まとめ係さんが欠席の場合は必ず代理の方の出席をお願いします。

二学期の教育活動から

一年生 あきのミニフェスティバル

生活科の「あきとなかよし」の学習で、一年生は秋の実や葉を使ってフェスティバルを開こうと子どもたちと計画しました。

六月のしみずっこフェスティバルを思い出し、どんな遊びができるかを考え、まつぼっくりボーリングやまつぼっくりゴルフ、おちばかるたなど工夫しながら作りしました。

初めてのお店屋さんとお客さんという立場でのフェスティバルは、子どもたちに楽しさと相手思いやる気持ち、そして、ルールや約束を守ることの大切さを考えさせる素敵な活動となりました。

一年四組 S・K

ミニフェスティバルで、おきやくさんがいつぱいきてくれて、すごくうれしかったです。さいごには、しようひんをいつぱいもらってうれしくてたのしかったです。

二年生 異学年交流

二学期は運動会や遠足など楽しい行事が盛りだくさんでした。子どもたちにとって充実したものになったと思います。中でもおいもパーティーやポップコーンパーティーでは、一年生や六年生との交流があり、子どもたちはとても喜んでいました。保護者の方々にもおいもの準備や袋詰めなど、協力していただきました。ありがとうございました。

三年生 お目玉づくり

三年生では総合的な学習の時間に妻田薬師について学習しています。妻田薬師保存会の方や保護者の方の協力を得てお目玉団子作りを体験しました。

三年二組 K・S

十一月三十日にお目玉団子づくりをしました。最初に上新粉に熱湯を入れてまぜます。それをみんなでころころ手で丸めました。できたてはもちもちしていて、食べたらいちいしかったです。お家で作りた

四年生 高齢者の方とふれあい活動

四年生は総合的な学習の時間で福祉について学んでいます。そこで今回は「あおぞら会」の方に来ていただき、高齢者疑似体験を行いました。

四年五組 M・T

ぼくは、十二月七日火曜日、四時間目に高れい者体験をしました。体験をしてみると体がとても重く感じて歩くのも大変でした。歩くのさえ大変なのに目が悪くなると、新聞の細かい字や自分で紙に書いた文字などがよく見えなくて大変でした。高れい者の方が日常生活に不便を感じていることを初めて気づきました。これからは、高れい者の方がいたら声をかけて助けてあげたいと思います。

五年生 省エネについてのお話を聞いて

五年生では、総合的な学習の時間に講師の方を招いて省エネについてのお話を聞きました。一人一人が地球を守るために何ができるかを考える良いきっかけになったと思います。

五年三組 O・A

地球が、このまま放っておくと百年で5度もあがってしまうと聞いたときはびっくりしました。そして一番に考えたのは怖いということです。私は今まで電気の無駄遣いをたくさんしていたことが分かりました。これからは冷暖房やテレビ、電気を使う全てのものを大切に、使い終わったら電源を切りたいと思います。

六年生 最高学年の思い出に

今学期は、安心・安全な学校、インターナショナルルーフスクール(ISS) 認証に向けて、たくさんの先生方の指導を仰ぎながら委員会という場で活動してきました。子どもたち一人一人が生かされ、活動できたことで多くの学びが得られたのは、今年でなければ、経験できない貴重な体験でした。

認証を頂いた今、その名に恥じないような卒業までの取組をしていきたいと思えます。

更に十二月には、「薬物乱用防止教室」「ベルマーレのサッカー教室」「ハーゲンダッツアイスクリーム」の食育についての学習など盛りだくさんな学習を経て子ども達の経験値が高まりました。

冬休みをむかえるにあたって

児童指導担当 千田 正孝

冬休みは、クリスマス、お正月など子どもにとって楽しみの多い休業です。子どもたちにとって楽しい冬休みとなるよう、是非ご家庭でも次のことについて話し合ってみてください。

【冬休みの過ごし方 五条条】

- ① 早寝早起きを心がける
- ② 風邪・インフルエンザを予防する
- ③ 事故にあわない
- ④ お金の使い方を考える
- ⑤ 新しい目標を立てる

① 年末年始は生活リズムが乱れがちになります。早寝早起き、お手伝いを心がけ、新年のあいさつなども子どものうちからしっかり身につけておきましょう。

② 空気が乾燥し、風邪やインフルエンザが流行る季節です。毎日の手洗い・うがいを忘れずに、健康管理に努めましょう。

③ 気の緩みが事故につながる必要がありません。遊びに身的安全意識を高める必要があります。遊びに行くときは、防犯ブザーの携帯、行き先・帰る時刻・遊ぶ友だちを伝えること。自転車に乗るときはヘルメットをかぶること。インターネットの使い方も再度確認しておきましょう。

④ お金を無計画に使わないよう、子どもと話し合い、お金の管理をしっかりしていきましょう。エアガンなど危険なおもちゃは絶対に買わないようにしましょう。

⑤ 冬休みは学習のまとめをしたり、生活を振り返ったりできる良い機会と捉え、三学期へ向けて期待と目標を持てるようにしましょう。

